

【刑 法】

問題 次の〔問題1〕及び〔問題2〕のいずれにも解答しなさい。

〔問題1〕

甲は、道路を歩いているとき、Aが落とした財布が道端に落ちているのを見つけ、財布を拾い上げて中身を確認したところ、A名義のクレジットカード1枚（B信販会社発行）が入っていた。甲は、Aをまったく知らなかったが、間抜けなヤツだと思ったのでクレジットカードを使って買い物してやろうと考え、クレジットカード1枚を財布から抜き取って上着ポケットに入れ、財布は途中の川に投げ捨てようと考えてズボンのポケットに入れた。

甲は、しばらく歩き、川に出たので橋の上から川に向かって財布を投げ捨てた。甲は、所持金はなかったが空腹であったので、駅前の食堂CであればA名義のクレジットカードで食事ができると考えた。甲は、駅前まで歩いて行き、食堂Cに入店した。甲は、店長D（食堂Cの経営者でもある）に対し、ビール1本と刺身盛り合わせと天ぷら盛り合わせを注文した。しばらくして、Dがビール1本と刺身盛り合わせと天ぷら盛り合わせを順次運んできたので、甲は、それらをすべて飲食した。甲は、会計で、Dから飲食代金3500円を請求されたので、A名義のクレジットカードを渡した。受け取ったDがクレジットカードをレジスターで読み取ると、売上票が印刷されて出てきた。Dが甲に対し、売上票に署名するよう求めたので、甲は、クレジットカードの裏面に記載されていたAの署名を真似て「A」と署名し、売上票をDに渡した。

Aは、財布を落としたことに気付かずクレジットカードの紛失届をB信販会社に出すのが遅れたため、B信販会社から食堂C（経営者D）名義の預金口座に甲の飲食代金3500円が立替払いされた上、クレジットカードの利用代金の決済日には、甲の飲食代金3500円がA名義の預金口座から引き落とされてB信販会社に支払われた。

甲の罪責を論じなさい（建造物侵入罪及び特別法違反の点を除く）。

〔問題 2〕

二人以上の者が特定の犯罪を実現することを共謀し、一部の者が実行行為を行って犯罪を実現した場合に、実行行為を分担しない共謀者が共同正犯として処罰される根拠について説明しなさい。

※ 解答用紙の記入に際しては、〔問題 1〕、〔問題 2〕と見出しをつけて解答を記入しなさい。